

公営霊園設置は出来ないか

直ちに公営霊園の設置は出来ない



上原 正一 議員

たいと希望を伝えておけば、昔の土葬のように死んだら自然に戻る。そんな信頼できる公営の霊園設置はできないか。

公益の責任をどう果たすべきか勉強する

町長

前は、納得してもらえなかったが、考えれば考えるほど必要と思いい度質問する。この問題は、多くの方が考えている事であり、墓を持つていない人、子どもが地元ではない、墓守がいないなどの方々は、先の事を心配されている。現在ある墓地を広く整備して芝を植えキンモクセイやサザンカ、桜などの樹を植え、その樹の下に火葬場から持ち帰ったほんのひつつまみの灰なり粉骨をハンカチからまく。終活の中でどの樹の下に眠り

ふるさと納税で埋葬許可はできないか

上原議員

現在ふるさと納税の基金を活用し、それで霊園を作りふるさと納税の返礼で埋葬許可を出す。町外の方がこの霊園に眠りたいなら33回忌まで供養してほしければ33万円。死んだ後、誰も供養してくる人がいなくてせめて3回忌まではと伝えておけば3万円。町内の人は、全てその半額。埋葬者のデータによって香を焚き供養する。

そこまで思いが至っていない

町長

公営霊園を設置する定義の中でどうあるべきか

具体的にこうだと示すこともできていない。現段階では、勉強するということと納税で生かせるか。ここまで、思いが至っていない。

農林振興課等一階への移転はできないか

上原議員

ワンフロアー化になり九年になる。メリットがあつて二階に移転した。しかし農協が撤退し共済組合もなくなる。中間管理事業があるので農業委員会と農林振興課は、一緒でないといけない。耐震工事の時一階への移転はできるのか。

耐震補強する中で考えていく

町長

ワンフロアー化のメリットは

①情報を共有する事で事業や窓口サービスの円滑化が図られる

②農家相談がワンストップ



一階への移転が望まれる農業振興センターへの階段

プ支援窓口として機能が図られる
③所得向上、経営安定の連携や指導の強化が図られる
現段階では、この形でやっていくしかない。スペースがないのも事実である。耐震補強する中で近い将来考えていくことが必要である。

国民健康保険税はあがるのか

上原議員

国民健康保険の改革が来年度から始まるといわれているが、本町は、課税方式は4方式で決まっているが県内一緒となると国民健康保険税はあがるのか。

説明会に参加している

町長

来年度から県に移行する方向性ははっきりしている。それに基づいて説明会に参加している。

激変緩和策で対応する

保健福祉課長

県の説明では、将来的に一本化を目指すという事で課税方式も3方式の均等割、平等割、所得割になり、本町の資産割が割愛される4方式から3方式に変わる事により保険税も違う人もでてくるが、激変緩和策で対応する事になる。